

「四ツ角」付近

関東大震災から復興後の街並み

～当時の秦野町の中心地～

明治時代の「四ツ角」付近には、刻み煙草や酒などの製造販売店から、桶や箒などの日用品店や米・雑穀店などの多様な店舗がありました。

その後、飲食店や劇場などの娯楽施設が完成し、さらに発展していきましたが、大正12年の関東大震災により、水道施設と同様に壊滅的な被害を受けました。

震災復興後は、道路幅を広げて多くの店舗が再建されました。



震災復興後の「四ツ角」付近